

新型コロナワクチン接種状況

※情報は8月15日時点のものです。

香美市では保健福祉センター香北を会場にして、毎週土曜日(午後)と日曜日(終日)に**集団接種**を、市内13医療機関で**個別接種**を実施しています。

● 新型コロナワクチン接種状況

65歳以上の接種希望者へのワクチン接種についてはおおよそ終了しており、65歳以上の接種率は1回目81.83%、2回目80.01%となっています(8月15日時点。接種を希望していない方も含む)。65歳未満の方については、8月から本格的に接種がすすんでいます。

● 新型コロナワクチン接種券の送付

65歳未満の方については7月1日から段階的に接種券を送付し、対象となる12歳以上の方全てに送付しました(ただし、12歳となる方は12歳の誕生日の翌月以降に送付します)。

● 新型コロナワクチン接種予約

<集団接種>

65歳以上：希望される方は コロナワクチン相談窓口 ☎53-9005 へ

65歳未満：予約専用Webサイトまたは専用電話 ☎53-9015 へ

※接種券に同封している文書でご確認ください。

※集団接種については、予約受付を10月末までに終了する予定です(今後の予約状況により時期を変更する場合があります)。集団接種を希望される方は予約枠の公開状況を確認し、早めのご予約をお願いします。

<個別接種>

各医療機関での受付となります。時期によっては受付終了となっている期間もありますので、香美市のホームページ等で最新の情報をご確認ください。

ワクチン接種のポイント

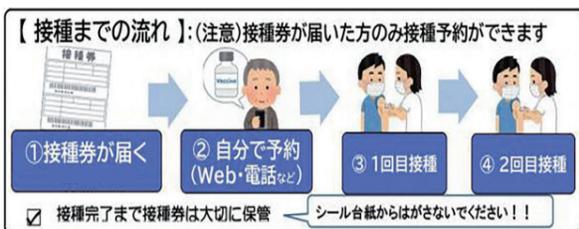
- 1 接種は無料ですが、予約が必要です。
- 2 自身の意思で接種してください。
- 3 希望者は必ず接種できます。
- 4 ファイザー社製ワクチンを使用しています。
- 5 事前にかかりつけ医に相談してください。

ワクチン接種のキャンセル待ちについて

1回目の接種を予約済みの方で、予約日より早い日程でのキャンセルが出た場合に、接種を希望される方はご連絡ください。
☎53-9015
(平日 9時~12時、13時~16時)

ワクチン接種までの流れ

※65歳未満の方



ワクチン接種後も罹患する場合がありますので、マスク着用やアルコール消毒など感染対策の徹底を！！

問い合わせ先

香美市新型コロナワクチン
相談窓口 ☎53-9005
最新の状況など
詳しくはHPをご覧ください。



香美市文芸

風の流れ

【短歌】

岡崎 桜雲 選

◆ 一般投稿作品 ◆

八十路坂見はらし良しとひと休みあの老木に一步一步と
十六夜の月を仰ぎてしのびたり祖父母の面輪ほのかに揺れる
病院のフロアに響く顎マスク嬢はしゃべる待合の中
卯の花が咲く頃母と田植えする古里の水は今も変わらず
出せば出る力と笑い二人李を肩に坂道上がる
追憶が背景ばかりでつまらない終の思い出熱い恋など
あかあかと雨戸ひらかれ灯が点り隣の空き家に人の声する
朝の戸を寄すればどつと蝉の声何処に育ちてこのひとときを
八反五畝の田植田廻りも一人しつ脊柱管狭窄症にかく悩むとは
爆音機音聞こえお有り難う後継ぎくれし息子に感謝
人生の終末にきて吾が生まれ日祝われておりありがたきかな
突軍機大倉山を通過せりその日狙いし街尼崎
この孫は「お富さん」聴くと浮かれ出すそりや物部つ子のDNAよね
歳重ねできない事の多くなる気長くしろよ自分を論ず
朝起きて蝉鳴き外は暑くして長き一日の今日が始まる
ひい孫が飽きず見ているアニメーション吾もつられて一緒に見ている
高台のわが家の灯り道の辺の田の面に揺るるを眺めて歩く
頼みしこと二つ忘れた息が言えり暑さの所為だいや齡かなあ
梅雨晴間今年も来たか不如帰其角の俳句吟いてみる
手の中に軽く収まるキウイの実ひとつ一つに表情のあり
安芸書展自詠の歌を出品す息が見に来てくれて至福のひととき
荒れし地に緑の命蘇る濁流の記憶力をなさむ

西野地 薫
山崎 貴子
伊藤 清子
岡本 初美
小松 敏子
原 茂
山中 逸朗
坂上のぶ子
大岸由起子
畠山 千江
小原 子川
森本 幸美
森本早智男
五百蔵利美
高田 清子
公文 千恵
吉本 悦子
竹村 咲子
大石 綾子
松中 賀代
門田 明子
武内 弘子

譲りあい座りしのみ縁なり佳き笑み残し下車してゆかれり
露の精いろに出でたるごと咲けるつゆ草のむれ朝日に耀ふ

◆ 高知アララギ短歌会 ◆

海の北の遙かな杜に父は通ひき戦の兄の無事を願ひて
時の来てこの川岸にノバラ咲き垂れ水面にたゆたひやまず
嵐去り日さしくればあかねきてつかずはなれずうれしみて飛ぶ
朝よりの雨は上がるらし熱もてるおさなの窓のはつか明るむ
カーテンを開けてあらため見る月は避難すべり台の鉄骨のうち
月一回の楽しい勉強待ち遠しい又来月ねと笑みが零れる
朝露にぬれつつ空地の草を刈る雀の餌場と狗尾草を残し
インキ止め糊は空の皮使う炭酸ソーダ煮て糊を出す

◆ 「湧光」グループ ◆

やせたい人太りたい人悲喜こもも私は後者切実な日々
音もなくのぼる月影中天に明日は蝕という不思議を思う
頑張るな友の電話の励ましは心に入みる妙薬に優る
世間では自給自足というけれどうまくいかない野菜づくりよ
出番前胸の高まり押さえては大丈夫よと言ひ聞かせつつ
実技終えし我を拍手で迎えられる同僚の姿に解れる緊張
窓ぎわに餌おきてメジロ待つ夫はヒヨドリ見るや手を打ち鳴らす
年を経て心に響く誠めは「不十分の中の十分」
コロナ禍で馴じみのそば屋店閉じる今までおいしいおそばありがとう
幼子の首に唇あて熱はかる姑に教はりし熱のある無し

俳句は偶数月、短歌は奇数月に掲載します。掲載を希望される方は、掲
載月の前月1日までに、ご応募ください。
【投稿先】香美市役所総務課内広報委員会事務局「俳句・短歌」係
〒782-8501 (住所記載不要) 53-5958

小松もとみ
佐竹 玲子
古谷 由美
佐々木真里
小松 信子
岩井美知子
古川 安子
宮地 亀好
小松美代子
秋 星
寺内 啓子
溝淵 龍泉
中村 佐代
井上 有子
尾立ひとみ
小松 美鶴
吉川 恵
町 耿子